記　　載　　例

様式第３－１号　　　　　　事業計画書及び収支見積書（解体業）

令和○年○月○日現在

１－１　事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

|  |
| --- |
| 　引き取った使用済自動車を手作業にて解体する。その際、有用部品(エンジン、トランスミッション、サスペンション、ドア、バンパーなど)を取り外し、中古部品及び金属くずとして、中古部品販売業者及び金属くず商に売却する。　解体の際、回収したタイヤ、バッテリー、オイル、冷却液等や、中古部品として取り外したものの売却できなかった物は、産業廃棄物として産業廃棄物処理業者に処理委託する。　エアバッグ類は、電子式のものは車上展開により処理するが、機械式のものは手作業で取り外し、指定業者に引き渡す。　解体後の解体自動車は、自社の破砕前処理施設(破砕業許可有)にて、破砕前処理(圧縮)する。 |
| 業務時間 | ８：３０～１７：００ | 従業者数 | ３人 | 休業日 | 土・日・祭日 |

＊ 引取から引渡までの流れを説明する内容を記載すること。

有用物回収品目、発生廃棄物についても記載すること。

各工程に係る作業人員数や時間について、記載されたフロー概略図も添付すること。

１－２　使用済自動車等の引取実績及び計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | ◇年度実績（３年前） | □年度実績（２年前） | △年度実績（１年前） | 許可取得後の年間計画 |
| 引取台数 | ４１１台 | ５２３台 | ３９０台 | ４００台 |
| 主な引取先 | 香川○○自動車㈱ | 同左 | 同左 | 同左 |

１－３　解体実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | ◇年度実績（３年前） | □年度実績（２年前） | △年度実績（１年前） |
| 年間処理実績 | ３９５台 | ５０１台 | ４００台 |
| 年間稼動日数 | ２３２日 | ２５１日 | ２３５日 |
| 平均処理実績 | １．７台／日 | ２．０台／日 | １．７台／日 |

１－４　解体能力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １日当処理能力 | 稼動予定日数 | 年間処理能力 |
| ２台／日 | ２３５日 | ４７０台 |

１－５　保管の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 使用済自動車 | 解体自動車 |
| 保管量の上限 | ５０台（０台） | 保管量の上限 | ５０台（０台） |
| 現在保管量 | ２５台（０台） | 現在保管量 | ２５台（０台） |

＊事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で（　）内に記入すること

１－６　年間収支見積書

令和○年○月○日現在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 前年度（△年）（決算月（３月）） | 今年度の見込み（決算月（３月）） |
| 年度（千円） | （１台当）（円） | 年度（千円） | （１台当）（円） |
| 売上高（全体） | ア（総売上収入） | 16,000 | 40,000 | 4,000 | 10,000 |
| 売上原価 | イ（使用済自動車等購入費） | 7,800 | 20,000 | -4,000 | -10,000 |
| その他の経費 | ウ | 7,200 | 18,000 | 7,200 | 18,000 |
|  | うち廃棄物処理委託費 | エ | 800 | 2,000 | 800 | 2,000 |
| 営業利益 | オ＝ア－イ－ウ | 1,000 | 2,000 | 800 | 2,000 |
| 営業外損益 | カ（主に支払利息（注）） | -400 | -1,000 | -400 | -1,000 |
| 経常利益 | キ＝オ＋カ | 600 | 1,500 | 400 | 1,000 |
| 使用済自動車等年間引取台数 | 390 |  | 400 |  |
| 使用済自動車等年間処理台数 | 400 |  | 400 |  |

（参考）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 前年度末 | 現在 |
| 負債総額（年度末残高）（千円） | 4,000 | 4,000 |

（注）　１　「１台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

２ 　支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。